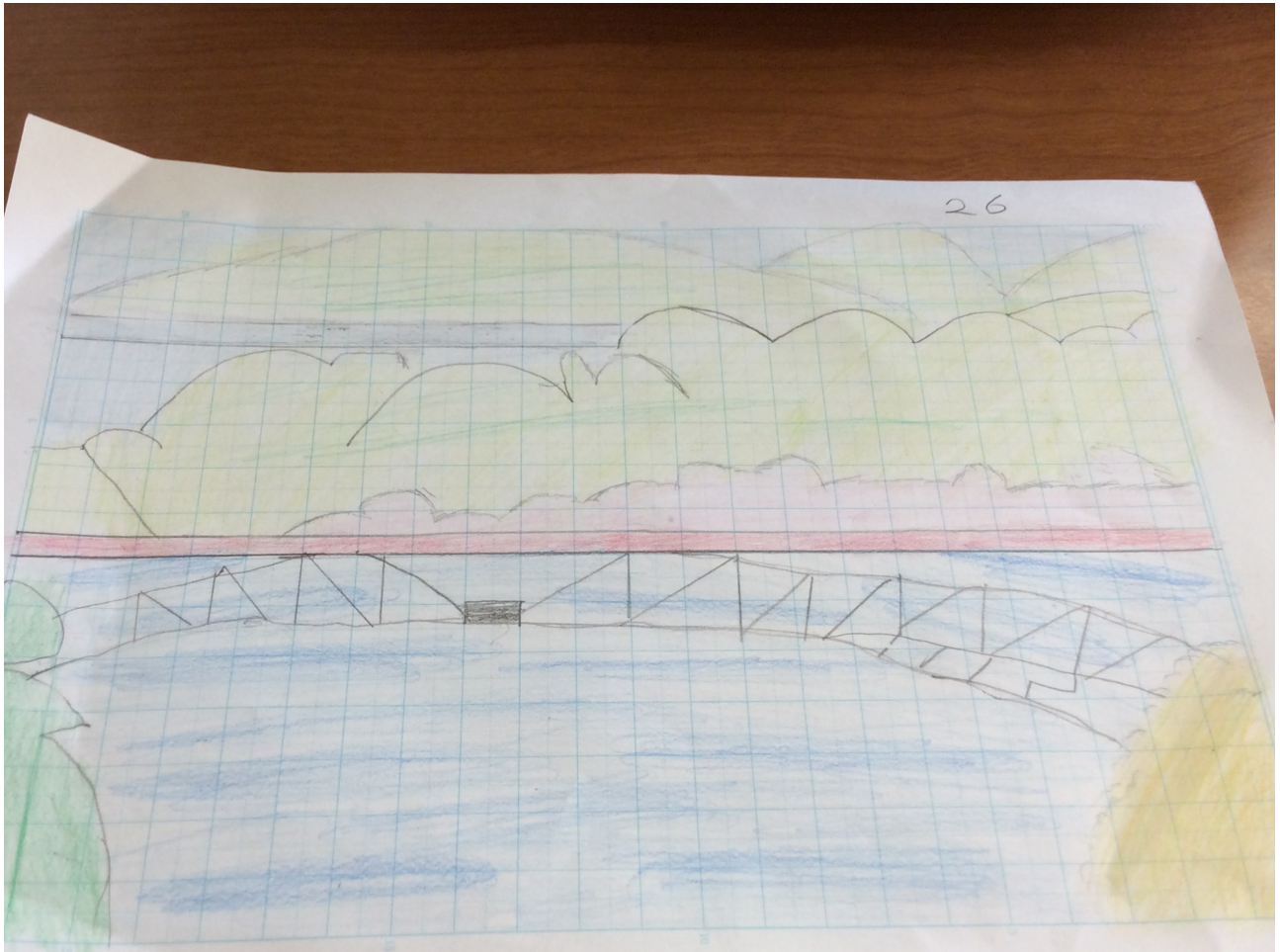


偉大なる西海橋

1955年西彼町に西海橋が建てられました。



西海橋が建てられる前は、西彼町から長崎に行くのも、ガタガタ道を2、3時間以上かかっていました。

佐世保に行くには、船しかありませんでした。朝早く船に乗って1日かかりました。

昭和10年(1935)大串出身の県議会議員、大串盛多さんは、伊ノ浦瀬戸に橋をかけることを議会でうったえました。

最初は夢のような話と受け入れられなかったが、盛多さんの熱意により昭和15(1940)年に作ることが決まりました。しかし、太平洋戦争が起こり、中止となりました。

終戦後再び計画 推進の動きが活発化し、昭和25年(1950)工事が始まりました。昭和30年(1955年)完成しました。

西彼町の人たちの願いがかないました。長崎と佐世保を結ぶ大切な橋になりました。